

令和3年2月26日

保護者 様

我孫子市立我孫子第一小学校
校長 山口 祐子

学校評価 ～地域・保護者・学校で子どもを育てる～

令和2年度 たくさんの御協力に感謝いたします

昨年12月に実施しました「学校評価」についてまとめました。今年度は、白山中區で形式を統一しました。今年度は、コロナ感染症予防のため、例年とは異なる教育活動が展開されました。「教育活動の振り返り」・「来年度に生かすための方策についての回答」・「11項目のアンケート結果」をお知らせします。ご意見につきましては、教育課程・行事検討委員会等を開いて伝えました。また、学校評議員会議においてもご意見を賜りました。

コロナ感染症の感染率が高くなり、第3波は予想をはるかに超える危機的状況でした。各種の行事やコンクール出場、予定していた学習参観や懇談会、PTA本部役員とおやじの会企画の「お楽しみイベント」等も中止にせざるを得ませんでした。

学校評価アンケートの回収率は80%でした。保護者の皆様の教育に関する関心の高さがうかがえます。ありがとうございました。

コロナ感染症予防対策・学校行事

国から発出された緊急事態宣言により、「休校・分散登校」と続き、子ども達の基本的な生活習慣が崩れやすい環境でした。入学式は2か月遅れましたが、79人を迎えられて、心からうれしく思いました。休校中の「学び」をできるだけ保障したいと考え、教職員は、知恵を出し合い工夫して課題をつくりました。各ご家庭において、1日の時間の使い方を工夫しながら、協力をいただきましたことに心より感謝いたします。7月からは学年に応じて6時間・7時間授業を行いました。教職員は学年主任が中心になって「教材研究」を行い、学年内同一進度で進めました。一小っ子はしっかりと学ぶ姿勢をもち続け、よく頑張りました。現学年での履修内容はすべて終えることができました。

現状が長期化する中で「かけがえのない いのち～自分もみんなも大切に～」を掲げ、思いやりの心を育みました。また、我孫子第一小学校ガイドラインの「新しい生活様式」に沿っての活動が続きました。一小っ子は、賢く行動しました。給食時はどの学級も、職員室も「0の声」で食べています。学習や授業中は、3密を避け、マスクを着用して、換気をしています。「手洗い→活動→手洗い（消毒）」を行っています。

また、今という足元だけでなく、一小っ子の1年先、2年先の育ちを想像することを大切にしてきました。子ども達が「飛沫感染・接触感染」の意味を理解し、考えて行動する力を育てました。その上で、教職員は、「手立てを工夫して」できる限りの教育活動を担保し、今付けさせなければならない力を意識して学習に臨みました。この学年は今年限りであることを胸に、子ども達を大切に育てました。

PTA本部の皆様には、「正門・南門」の登校指導の旗振りや、液体ハンドソープや消毒液の入手で力を貸していただきました。保護者の皆様のボランティア「トイレ掃除・流し掃除・廊下掃除」に50余名の協力をいただき、大きな力で支えていただきました。心からありがとうございました。

行事に関しましては、ほとんどが中止となりましたが、運動会につきましては、低・中・高学年の3部入れ替え制で行いました。高学年は主体的に競技を創り上げました。学級会の意見を実行委員がまとめ、「一小オリンピック～2020絆を深めて～」を考えました。「コロナ対応」を視野に入れた、子どもらしい発想でした。保護者の皆様には、PTA本部の皆さんが考えてくださった「入場くじびき制」を理解していただき、スムーズな入れ替えに協力いただきました。6

年生は、校外学習や修学旅行の代替特別企画においても更に力を伸ばし、「我孫子かるたの読み札を考えながらの手賀沼半周10キロウォーク」や「2020卒業思い出フェスティバル」を自分達の力で創り上げました。

校外学習は次のように工夫をしました。

- 1 1・2年生は、校外学習を徒歩遠足としました。バスを使わず、体を使った校外学習は、声かけあって励まし合い、疲れても最後まで頑張りぬく力を育てました。
- 2 3年生は、バスの台数を増やし、明治ファクトリーに見学に行きました。衛生管理の厳しさとオートメーション化した工場を見学し、学びが深まりました。給食前に学校に到着するよう配慮しました。4年生は、バスの台数を増やし、千葉港コンビナートの船上見学と千葉市科学館へ行きました。船上から自分の目と耳と心で教室での学びを振り返ることができました。千葉市科学館では、「ビニルの手袋」を着用しました。また、弁当は、窓の方を向いて、誰一人おしゃべりをすることなくいただきました。
- 3 5年生は、手賀の丘少年自然の家で、昼間のキャンプファイヤーとウォークラリーに絞って林間学校を行いました。ウォークラリーでは、地図を読むことの難しさを知り、仲間と声かけ合い支え合うことを学びました。1日の活動でしたが、「体験は全ての礎」「一致団結(学年目標)」の言葉通り、価値ある体験活動が展開されました。6年生については、行事の中で説明しました。

学習指導

本年度は、我孫子市研究指定校研修事業研究校の3年目のまとめとして、「自ら課題を見出し、主体的・対話的に学ぶことができる国語科学習指導」～“地域とつながる総合表現活動”を位置づけた単元づくりを通して～の市内公開を行う予定でしたが、コロナ感染症予防の対応を考えたとき、頭を寄せ合い、協働的な学びによって自分たちの納得解を導いていく研修は難しいと判断しました。直ぐに舵を切り直し、授業改善を経て授業力アップにつながる「算数科」を研修の柱とすることにしました。素材→学習問題→異同弁別→比較検討→適用→まとめ→練習→振り返りのサイクルを身に付けることによって、学年や担任が変わっても一小っ子の学びは継続されます。「一小スタンダード」を定着させ、学び方を統一することができました。12月に行われた学力テストでは、全学年が全国平均を上回りました。併せて、経年変化においても、全学年の学力が毎年上がっています。授業研究が授業改善に結びつき、成果となって表れました。

学校教育目標に掲げられている地域に根ざした「ふるさとを誇りに思う児童の育成」は、できる限りの工夫をしながら、体験や言語活動を大切に取り組みました。3つの学年の工夫例です。

- 1 2年生は「思い別町探検」ではなく、学級ごとに並んで見学し、一つ一つの店や施設等は担任がビデオ撮影して、子ども達の情報収集を助めました。
- 2 3年生は、創立記念式典で「我孫子第一小学校の宝物」を調べたテーマに沿って、立派に発表しました。学級の壁を越え、「思い別」で調べ学習を進めました。
- 3 6年生は、自分達で考えた「夢いっぱい我孫子プラン」を市長さんに提言したり、我孫子という地域がもつ力を「我孫子こどもかるた」で表現したりしました。「広報あびこ」にも紹介されました。地域の方から「全部の読み札・絵札を見たい。」「かるたを譲ってほしい。」等のうれしい電話をいただきました。「6年生を送る会」では6年生が全学級に「我孫子かるた」をプレゼントしました。

国語科の学力テストにおいても、全国平均を上回るまたは同レベルという結果でした。国語科についても十分な成果となって表れました。

今年度は、中堅や若年層教員が「道徳科」の授業研究にも取り組み、子ども達の心を育てるための指導方法を学びました。来年度は、「総合表現活動」と「算数科・道徳科」の研究・研修を

充実させ、更なる学力向上に努めていきたいと考えています。

安全

2月13日(土)の地震では、東日本大震災3・11を思い出しました。2月15日(月)に安全主任から家にいる場合も学校にいる場合も「落ち着いて、命を守るための行動をとること」について、指導をしました。今後、地震や荒天、不審者対応でお子さんの引き渡しを考えられます。「保護者の方の居場所」がわかっていることが大切です。外出先等をお子さんに伝えておいてください。避難訓練は2回、不審者対応訓練は1回実施しました。今年できなかった引き渡し訓練は、来年度工夫して行います。日頃より親子で通学路の危険箇所等の確認等もお願いします

本校では学期はじめに教職員・生活安全委員会の委員による登校指導を行っています。また、毎日、安全管理員(3人が交代で勤務)が、正門・校内巡視・学校近くの外回り・356号の横断歩道で登下校指導・防犯を行っています。校長・教頭も正門と南門の十字路で登校指導を行っています。地域の「子ども見守り隊」の50名の皆さんが、暑い日も寒い日も、交通安全の旗を振りながら、登下校見守りをしてくださっています。栄地区の工事は、長期的に行われるそうです。安全要員が配置されていますが、十分に気を付けてください。

通常の登校は「徒歩」ですが、病気や怪我のため車で登校する場合、フラワーロードは最徐行でお願いします。

小中一貫教育

白山中區で、「学校評価の形式」を統一しました。今年は例年通りの評価はできませんでしたが、今後、小学校から中学校にかけて、9年間で子ども達を育てていく内容を共通理解することができました。

Zoomを利用したリモート交流会を、4回行いました。1回目は、10月29日に我孫子第四小学校児童会長と本校児童会長の「小・小」交流です。児童会の活動について教え合いました。2回目は11月17日「小・中」交流です。白山中の生徒会長に本校と我孫子第四小学校の会長が「中学校の生活について」質問をし、答えていただきました。3回目は、12月18日の「小中一貫の日」です。6年生が白山中学校の「学校紹介」・・・校長の話・学習・生活・部活動の動画を視聴し、感想を書きました。4回目は2月15日「小中生徒会、児童会の交流・教職員の交流」です。小学生が質問し、中学生が答えるという形で進行しました。教職員の交流では、研修・生徒指導・特別支援教育の3部の主任が、情報交換をしました。

今年度は、一堂に会することはできませんでしたが、ICTを有効活用して、小中一貫教育を充実させることができました。

令和3年度に生かすことができる方策について ○意見 ◎回答

○SDGsや環境問題、マイクロプラスチック問題など、将来のためにも重要な事柄を小学生のうちから自分達で考えていくような時間があるとよいと思います。また我孫子産の給食の日があるように、有機野菜の給食があると素晴らしいと思います。

◎SDGsやSociety 5.0について、教育課程の中に組み込んでいくことが、これからの予測不可能な時代の中で生き抜くための資質や能力を育てることにつながっていくものと考えます。研究推進委員会でも話題にしていきます。有機野菜の給食については、農家との契約にもかかわってきますので、すぐに回答はできませんが、ご意見として伺っておきます。

○授業参観の代わりに、動画による授業の配信があるとよいです。

◎授業の配信はできませんが、「創立記念式典」「6年生を送る会」「スプリングコンサート(吹奏楽部・合唱部)」については、期間を決めてYouTubeで配信しますので御覧ください。

(URLは後日お知らせします。)

◎今年度は、保護者の皆様に学校に来ていただく機会が極めて少なかったため、各学級の様子をHPでできるだけ詳しくお知らせしました。その学級の日々の教育活動のほんの一部ですが、一小つ子が頑張っている様子をご理解いただけましたら、うれしく思います。

○算数科での少人数制や習熟度を取り入れてほしいと思います。

◎単元の中で、練習問題を解いたり、まとめの習熟場面において、学級を1/2にして少人数指導を行ったりしています。また、習熟度別学習については、単元の指導計画の中で、この学習方法が有効な時間もあります。習熟度別学習の「+」と「-」を理解し、教職員が手法を学んでいきたいと思っています。コロナ感染症対応が収束後、「有効な場面」で活用していくことができれば、学力の向上につながると考えます。

○問10は、あまり悩んでいないので、「相談していない」にマークしました。コロナで大変な中、よく対応していただいていると思います。

◎ありがとうございます。来年度、設問の文言を検討します。

○挨拶をしない先生がいます。子どもの教育のためにも、きちんと挨拶をしてほしいと思います。

◎教頭から全教職員に指導しました。挨拶は心を開く第1歩です。家庭でも学校でも「自然に気持ちのよい挨拶」ができる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

○コロナで学習時間が例年より少なく、補習等時間を割いていただければと思います。

◎上記にも書きましたが、7月から9月まで「6・7時間授業を行ったこと」「通年で行事が中止になかったこと」から、学習時間は取り戻すことができました。また、履修内容も全学年が終えることができましたので、ご安心ください。

○行事を学校単位ではなく、学年・クラス単位にすれば、できることが増えると思います。

◎ありがとうございます。持久走の練習や縄跳び集会、6年生を送る会等で、集団を小さくしたり、入れ替えたりして工夫しました。

○上の子どもの時に、連絡帳に「四字熟語」「慣用句」「ことわざ」を1日1つ書いていました。その時に覚えたことが、のちに役立っていて、とてもよかったと言っています。1日1つ、クラスメイトと楽しく覚えることの方が、身に付くと思います。是非復活してほしいと思います。

◎教職員には、このご意見を伝えます。日記を書いている学級、今日のキラリを発表している学級等、今は様々な取組をしています。

○休校等、ハンデの中、先生方が本当に熱心にやってくださっているのを感じます。コロナのため、私たち親がお手伝いできないことが多く申し訳ないです。感謝しています。

◎本校は、保護者の皆様と地域の皆様に大きな力で支えていただき、教職員一同とても感謝をしています。教職員は、「我孫子第一小学校のガイドライン」に沿って、細心の注意をはらって、1日を過ごしています。共用部分の消毒も毎日行っています。このような励ましの言葉をいただき、来年度も頑張る力がわいてきました。ありがとうございます。

学校から

※引き渡し訓練・我孫子市統一の荒天対応の文書をよく読んでいただき、準備をお願いします。

※漢字検定は、今年度は1月1回のみの実施でした。160名が受検しました。

※委員会活動では、常時活動+主体的な取組があり、子ども達のやる気を感じました。

※逆上がりは、昨年の78.5%→74.8%の達成率でした。コロナ禍の中、体育委員会の逆上がり教室や担任の働きかけで、多くの一っ子ができるようになりました。

素直で一生懸命な一っ子とコロナ対応をしながら全力指導をした教職員の総合力で令和2年度が修了します。1年間のご協力をありがとうございました。